ナンバリング	B③01	科目名	教育実習(実習指導)
担当形態	複数	担当教員	池谷 潤子・伊藤 恵里子・井上 裕美子 大澤 ちづる・久保 瑤子・郷家 史芸 古賀 琢也・小木曾 友則・由田 新
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③・④		
テキスト	「教育課程・保育の計画と評価」萌文書林 「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館 「保育用語辞典」ミネルヴァ書房		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	1単位 演習
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園において、子どもとのかかわり、適切な援助を行うための準備をし、実習後に実習体験のまとめを行うことで、自身の体験を省察し反省的な実践を行う素地ができる。 ・保育の過程を理解し、計画の立案から実践、評価までを行う体験(部分実習・責任実習等)のための準備を整える。 ・3週間という長期間の実習で、背景を含めた子どもの理解やこれまでの実習から見えてきたテーマについて、実習から見えてきた自己の良さや課題について、深く掘り下げるための準備ができる。 		
授業の概要	<p><事前指導></p> <p>1年次の実習の成果等を基に、実習のテーマを設定します。そして、①目的・テーマにそった実習の実施、②部分・責任実習等、保育の過程の理解に向けた準備、③幼稚園教育要領の理解、④記録の作成(経過記録/エピソード記録)⑤実践から自身の価値観や良さと課題の傾向を観ていきます。</p> <p><事後指導></p> <p>実習後の振り返りは、実習の総括レポートを基に、実習の記録や体験を基に仲間同士で振り返り、自身が実習を通して何を見て何を感じ、目の前の子どものように関わり、なぜそのように考えたかなど実習のまとめを行います。</p>		
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 2年次の実習のねらいとすすめ方</p> <p>第2回 実習をすること・大切にしていきたいこと</p> <p>第3回 これまでの実習を振り返りながらテーマを設定する</p> <p>第4回 幼稚園教育要領を実習に生かす</p> <p>第5回 園での子どもの生活・保育者の仕事をどう理解するのか</p> <p>第6回 部分・責任実習に向けて①</p> <p>第7回 記録の書き方</p> <p>第8回 事前訪問(1日体験)</p>		

	<p>第9回 事前訪問の振り返りとまとめ</p> <p>第10回 部分・責任実習に向けて②</p> <p>第11回 教育実習において何をどう学ぶのか</p> <p>第12回 事後指導①</p> <p>第13回 事後指導②</p> <p>第14回 事後指導③</p> <p>第15回 事後指導④</p>										
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・実習での体験を実習記録としてまとめる(60分以上)。 ・前回の実習記録を読み直し、次回の実習の目標を立てる(60分以上)。 										
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録及び指導案の課題 — 20% ・幼稚園教育要領の理解 — 20% ・実習の総括レポート — 40% ・実習成果の発表 — 20% 										
参考文献	<p>「幼稚園教育要領」文部科学省</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府</p>										
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての授業に出席することが求められます。 ・実習が不十分で単位が認定されない場合、実習指導も合わせて認定されません。 										
課題へのフィードバック方法	<p>課題やレポートは必要に応じてコメントを記入し返却します。</p>										
卒業・免許状・資格との関連	<table border="1"> <tr> <td>卒業</td> <td></td> <td>幼稚園教諭免許状</td> <td>必修</td> <td>教育実践に関する科目</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>保育士資格</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育実践に関する科目	その他		保育士資格		
	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育実践に関する科目						
その他		保育士資格									
実務経験のある教員等による授業内容	<p>(池谷) 国外保育園での勤務経験を活かし、実際の課題はどんなものか、その解決への取り組み方法、また、その際の問題点などに触れ、より実践的な授業を行う。</p> <p>(大澤) 国内外の幼稚園教諭経験があり、発達支援を目的とした音楽療法についても経験を有する</p> <p>(郷家) 認定こども園での勤務経験を活かし、子どもの遊びに関して深く考察し、実践的に授業を行います。</p>										